

令和6年 第12回

羅臼町教育委員会議事録

令和6年第12回羅臼町教育委員会

1 日 時 令和6年10月30日(水) 13時30分～14時30分

2 場 所 羅臼町役場 3階 第5・6会議室

3 出席者

教育長	石 崎 佳 典
委 員	葛 西 良 浩
委 員	芦 崎 拓 也
委 員	佐々木 美 穂
委 員	小 林 真裕子
教育指導主幹	横 澤 英 三
学務課長	八 幡 雅 人
社会教育課長	長 岡 紀 文
総務管理係長	櫻 庭 千 尋

4 欠席者

なし

5 傍聴者

なし

6 議 題

報告 第16号 諸会議・諸行事について

7 その他

1. 教育指導主幹通信について

【開 会】

○石崎教育長

令和6年第12回教育委員会を開催いたします。

本日全員の出席がありますので会議は成立とさせていただきます。議事録署名委員につきましては、芦崎委員と小林委員にお願いします。

議事の確認をさせていただきます。本日の議題は報告事項として、報告第16号「諸会議・諸行事について」の1件となっております。

議事に入る前に私から行政報告をさせていただきます。10月1日に、葛西委員に町長から第3期目となる教育委員の委嘱状の交付がありましたので、皆さんにお知らせをさせていただきます。平成28年からの2期が終了し、10月1日から第3期目となりましたので、どうぞよろしくお願ひします。2点目ですが、10月15日の朝に、皆さんご承知のとおり、モセカルベツ地区で土砂崩れが発生し、現在も片側交互通行となっております。町民の皆さんにはご迷惑をおかけしているところです。当日は、知円別地区の子ども達を乗せたバスが市街地方面に向かって途中に土砂崩れが発生したため、バスが通行できなくなったという状況でした。子ども達は一切事故に巻き込まれることなく、各家庭に戻っております。15日についてはモセカルベツ地区以北の子ども達は全員が学校や幼稚園には行けなかったということです。翌16日についても道路が復旧しませんでしたので、幼稚園を含め出席停止扱いとし小学校中学校対応をしたところです。また、高校と教育委員会も連携をとり対応をしたところです。幼稚園から高校までの約30名が足止めという形になりました。教育委員会の対応としては、幼稚園長、高校を含めて、各小中学校の校長に教育委員会に集まっていただき、情報確認や、対応について協議をしたところです。道路が開通した17日からはバスが運行し、学校は通常どおりの授業を行いました。週末に天候が悪化するという予報がありましたので、10月20日（日）に、知床未来中学校の学校祭が予定されていましたが、いち早く延期の判断をし、翌日の月曜日に行ったところです。結果として日曜日にも、道路は通行可能でしたがそのような形で学校祭を終えたところです。学校・幼稚園に与える影響といった部分ではお休みが2日ありましたが、影響は最小限だったと思っております。何より子ども達が事故に巻き込まれることが無かったことに安心をしたところです。3点目ですけれども、一校一園化の報告会を10月1日に開催しております。30名程度の町民の皆さんにお集まりいただき、駐車場の心配や吹雪の場合の交通手段の確保等、様々なご質問をいただきましたが報告会は1時間程度で終了しました。4点目として、10月24日に根室市で14年ぶりに開催された北海道の移動教育委員会を傍聴してきました。そのあと移動意見交換会があり、羅臼町で行っている知床学について私の方から10分程度、皆さんにご説明させていただきました。すばらしい取り組みということで、北海道の教育委員の皆さんからもお話をいただいていたところ。5点目ですが高校生の一日議会が

11月1日に開催されます。5つの班から16件の質問をいただいております。そのうち、教育委員会の関係は5件となっております。ぜひ皆さんご都合をつけていただいて、議場で一緒に一日議会を対応していただきたいと思っております。6点目になります。令和6年度の羅臼町表彰式が11月8日に商工会で行われます。教育委員会関係では、教育文化貢献賞に文化財保護調査委員の山中伸行氏を推薦し、受賞が決定したことをご報告いたします。

以上6点、行政報告とさせていただきます。それでは議事に入ります。

【議 事】

●報告 第16号 諸会議・諸行事について

○石崎教育長

報告第16号「諸会議・諸行事について」担当から説明をお願いします。

○学務課長

議案の1ページをお願いいたします。報告第16号「諸会議・諸行事について」について報告いたします。2ページ目をお願い致します。11月から12月の主な行事予定を記載させていただいております。学務課の所管事項といたしまして、教育長からもありましたが、11月1日に高校生の一日議会が開催されます。11月6日から8日にかけては特別支援巡回指導ということで、帯広葵学園の丸山先生が来町いたします。11月7日は就学相談会及びカンファレンスです。11月10日には春松小学校の学習発表会が行われる予定となっております。11月15日は教育局指導監訪問、11月17日には春松幼稚園の発表会が開催される予定となっております。11月21日は指導主事要請訪問が羅臼小学校で行われます。11月22日は税の作品表彰式ということで、役場の1階会議室において表彰式が行われます。11月の定例教育委員会は11月27日を予定しております。11月28日には指導主事計画訪問、同じくJA標津によります食育の授業が未来中で行われる予定です。12月に入りまして12月1日、羅臼幼稚園の発表会が開催予定となっております。12月5日ユネスコス쿨の研究発表会が羅臼小学校で行われる予定です。12月は定例議会の開催月でありますので、12月10日から12日にかけて、定例議会の予定となっております。12月11日から12日につきましては指導主事計画訪問が羅臼小学校と春松小学校で行われます。12月の定例教育委員会につきましては12月18日を予定しております。12月23日各学校幼稚園は終業式を行い、12月24日から1月16日まで冬季休業に入ります。また、役場と教育委員会につきましては12月30日が仕事納め、12月31日から1月5日まで年末年始の休業ということになっておりますのでご報告させていただきます。以上でございます。

○社会教育課長

次に社会教育課、図書館、郷土資料館所管事項について説明させていただきます。11月1日から2日に北海道社会教育委員連絡協議会の大会が網走市で行われ、委員さん2名が出席予定となっております。11月1日から4日まで、第53回羅臼町総合文化祭がらうすぽで行われます。11月2日に町民小劇場、11月3日には、子ども祭りやカラオケ大会を予定しています。11月6日・13日・20日・25日、12月25日に水産教室を行います。11月7日は、こまぐさ学級を実施し羅臼幼稚園児と羅臼高校生の交流会を予定

しています。11月27日及び12月4日にかかわりあそびプログラムをありんこで実施します。11月28日から29日、各小・中学校においてメディアコントロール講演会に中谷先生をお招きして実施する予定です。12月7日から8日については道民芸術祭「総合芸術展」が根室市で行われます。12月14日には知床Kids第6弾のこまぐさ学級との交流をらうすぽで予定しております。図書館につきましては、11月11日及び12月2日に図書館協議会の研修会が行われます。11月につきましては中標津町、12月2日につきましては、羅臼町で行う予定となっております。11月12日には図書館のひみつ学習が羅臼小学校で行われます。11月19日から22日につきましては図書館地区別研修が札幌市で行われます。11月29日、釧路根室管内公共図書館協議会地方研究集会が釧路市で行われます。郷土資料館です。11月2日、第2回知床圏4高校フォーラムが斜里町で実施されます。11月13日には第2回文化財保護調査委員会を役場で実施する予定です。以上でございます。

○石崎教育長

報告第16号「諸会議・諸行事について」担当から説明がありました。ご意見ご質問等ありましたらよろしくお願ひします。

○全委員

意見、質問等は特になし。

○石崎教育長

報告第16号「諸会議・諸行事」については承認といたします。今日の議事は以上で終了いたしました。

【その他】

●教育指導主幹通信について

○石崎教育長

その他として、教育指導主幹通信について説明をお願いします。

○横澤主幹

主幹通信をご覧いただきたいと思います。『学校の先生の机、教室のどこにある？現役小学校教師が語る、机を7m動かただけで子どもの「落とし物が減った」理由』をご紹介します。この文を書いたのは教員22年目の松下隼司先生という方で、大阪で先生をされています。ご自身が小学生だったころ、教室のどのあたりに先生の机が置いてあったでしょうか？おそらく教室前方の窓側に置いてあったのではないかと思います。実はこの先生は1年間だけ教師用の机を教室の後ろの方に置いてみたことがあるそうです。子どもにとってのデメリットは安心できないことで、担任が背後に座っていたら、子どもは後ろを向かないと担任が見えない。背中から常に見られる緊張感があるということです。教師にとってのデメリットは、授業中休み時間で子どもの表情や手元が見えない、確認できないことです。そんな失敗経験もあり教師用の机は教室の前方の窓側が定位置でした。長年不便を感じなかったからです。他の先生方も同じ場所に置いているので、子どもも慣れていたからです。教師になって22年目、初めて教師用の机を教室前方の廊下側に置いてみたそうです。そうしたことにより、窓側に付いているテレビが見やすくなったそうです。それ以上のメリットとして、まず1点目、朝登校して子ども達と挨拶をしやすくなったと。教室のドア近くに担任がいると、子どももすぐ私の存在に気づいて挨拶してくれるようになりましたということです。2点目、廊下を猛ダッシュする子どもが減った。廊下側に先生がいつもいる状況になるので、気を付けることができるということです。3点目は、教室の落とし物が減ったということです。教室の出入口近くに落とし物箱を置いたということです。子どもが授業中にノートや学習プリントなどを持ってくるとき、休み時間におしゃべりに来るときなど、ついでに落とし物箱の中を確認する子どもが増えたということです。4点目として、節電につながったということです。これはドアの開け閉めを意識するようになるということです。教室のドア近くに担任がいると、面倒くさがりの子どもも「先生が近くにいるからちゃんと閉めよう」と意識する。子どもの代わりに担任が閉めることもできる。5点目、教師としての業務改善や働き方につながった。教室前方の廊下から入ってすぐの黒板横の壁には、いろいろな物がついています。廊下に出られるので職員室と教室の行き来も以前より楽になったということで、業務改善・働き方改革につながったということです。ちょっとしたことです。私も気づいていませんでした。教師用の机は窓側という先入観がありました。

が、それを変えてみただけでいろいろな改善につながったという例ですので、常識的なことは、本当に常識なのかどうか分からないこともあります。変えてみることも方法の一つと思った次第です。

山形県天童市立天童中部小学校の公開研究会に参加してきました。一貫教の予算をつけていただき、小学校の先生方3人、羅小が1人、春松は2人が参加しました。天童中部小学校は自由進度学習の先進校ということで認識しておりましたがそれだけではありませんでした。資料をご覧ください。天童中部小学校のカリキュラムです。マイプラン学習というのは自由進度学習のことです。フリースタイルプロジェクトというものもありました。これは総合的な学習の時間で、前期後期20時間ずつにわたって子ども達が本当に自由に課題を設定してそれに向けて取り組んでいくという内容です。2時間分の授業見てきましたが何をやっているのだろうという授業でした。例えば、おいしい料理を作ろうという課題で料理を作っている子ども達がいまいました。野球少年団に入っていると思われる子は、球を速く投げるにはどうしたらいいのだろうかという課題を作り、雨が降っていましたが外でキャッチボールをしていました。一番面白いと感じたのは韓国の化粧の研究をしているという6年生の女子が2、3人いました。いろいろ調べ韓国ではどのような化粧をしているのか、最終的な発表では化粧をするのかなと思いました。このように、本当に自由な取り組みを行っていました。マイプラン学習というのは以前学校訪問をしたときに羅臼小学校でも取り組んでいるものになります。自学・自習という取り組みがありました。5年生の教室を見に行ったときに、分数の勉強をしていましたが教師役が子どもでした。子ども4人が前に出て授業を進めていました。それに対し子ども達が答えていました。先生は廊下にいました。ほとんどというか全く口出ししませんでした。そういうような授業です。子どもが自分で調べていくという授業をやっていました。仲間と教師で創る授業というのは一般的な授業です。教師主導で行う授業になりますが、これも1時間公開の授業ありましたので見てきましたが、一般的な授業でした。比率では、教科で扱っているのが右の3つになりますが、仲間と教師で創る授業が8割です。1割がマイプラン学習、1割が自学・自習の授業ということです。マイプラン学習と自学・自習の時間が並行して同じ期間でやっていましたので、片方では、自学・自習で分数をやり、もう一方では平均の授業を並行してやっており、2単元が同時に週の中で行われているという不思議な感じがしました。下段に書かれているのは、フリースタイルプロジェクトの内容です。裏面をお願いします。ICTの活用についてです。上段が従来型で、下段の授業というのは天童中部小学校で目指した授業です。学校の規模は600人程度です。学年100人ずつくらいの学校で、タブレットは全員に配られています。授業を見たとき、各クラスに何名かタブレット使っていない子がいました。全員に配られていないのかと不思議に思い、授業の後に聞いてみたところ、使わせないでくれという親がいるそうです。ゲームばかりやるので持ち帰らせないでほしいと言う親もいるそうです。そのような家庭があるためそれを尊重し、タブレットを使わない子

ども達はノートに手書きをしています。資料の下段、自学・自習の作り方は、子ども達が行う事業です。例えば分数の足し算について子ども達が調べその授業をするという形式ですが、学力がつくのかと聞いてみたところ、最終単位が終わった後に2、3時間は先生が補足の授業をしなければならないそうです。そのため進度が大変ですというお話を受けました。それはそうだろうなと思いましたが、子どもにとってみれば、自分で授業をやったところは絶対覚えるでしょうし、身につくのではないかと思います。去年まではやりたい子に希望をとり取り組んでいましたが、それでは効果が低いと考え、全員を出席番号順に4人ぐらいつつ集め、授業をさせる工夫をしているということです。一昨年まで春松小学校にいた佐藤裕崇先生という方がこの小学校の5年生の理科の授業を行いました。当日の参加者はこれまで見たこともない人数の470人でした。北は我々北海道から南は沖縄までの参加があり、人数の多さから教室には入ることができませんでしたが、一生懸命取り組み成長した佐藤先生を見ることができました。子ども達が学習を組み立てていく力が本当に高いと感じました。今回、行くことができ本当に良かったと思っています。各学校でも参加した先生方から還元してもらい、それぞれ自由進度学習に積極的に取り組む学校が出てくればと思っています。

次に、オレンジ色の資料が小学校全国学力学習状況調査の質問紙の結果をまとめたものです。青い方が中学校です。小学校の3ページをご覧ください。昨年までのまとめ方と変え、道教委で分析している内容と項目を同じくしました。変更した内容は、一番上の5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたかという部分ですが、下段の29番の設問内容になりますが、選択肢が6つあります。6つありますが道教委のまとめ方は、1番の「発表していた」と答えた子だけを比較しています。去年までは2番の「どちらかといえば発表していた」を含め、1番と2番の合計で道教委と比べていましたが、道教委は全て1番だけでしたので、同じ形にしています。これは授業改善に関する取り組みということで学校の取り組みについて子ども達がどう思っているかということを質問したものです。グラフの青い線が羅臼町の子どもの平均です。黒い線が全国平均ですが、比較していただくと非常に外側の項目が多いということがお分かりいただけると思います。6ページをご覧ください。各設問と正答率の関係を調べてまとめたものが書かれています。このような結果から、小学校においては比較的授業改善が進んでいると考えられると思っています。ただ、自分の考えをまとめる活動に力を入れる必要があるということが課題だと思います。文章や話を組み立てて工夫していると回答している子の正答率が高い傾向にあります。自分で考え自分から取り組んでいると回答している子が算数の正答率が高いという傾向にありますので、こういった授業をしていけば伸びていくのかなと思います。次の項目は国語の学習になります。10ページに結果を記載しています。国語の授業の内容がよく分かったと回答している児童の割合が全国平均より低く、さらに年々低くなってきています。国語の授業で情報を整理するこ

とを意識していると回答している児童の国語と算数の正答率が高くなるという傾向がありますので、ここを意識していただければと思います。11 ページは算数の学習のグラフです。結果については15 ページをお願いします。算数の勉強が好き、算数の授業の内容がよく分かると回答している児童の割合が全国平均より低く、過去最低となっています。ここが課題だと思っています。逆に同じ設問で、よく分かると回答している子の国語と算数の正答率が高いという傾向にありますので、子ども達が、よく分かる、好きと答えられるようにしていかなければならないと思います。16 ページをお願いします。学習習慣、学習環境、生活習慣等です。グラフの右側が全国平均を大きく超えています。これは学校の授業時間以外に普段1日当たりどれぐらいの時間、パソコンやタブレットなどのICT機器を使って勉強しているかというところで1時間以上と答えたということです。1時間以上というのは全国平均の何倍もあるという結果でした。生活習慣については20 ページをお願いします。平日、土日に1時間以上勉強していると回答した児童の割合が全国平均より低くなっています。また平日1時間以上勉強していると回答した児童の割合が過去最低となっています。平日4時間以上テレビゲーム、動画を視聴していると回答している児童は正答率が低くなっています。過去何年もこの傾向が続いています。スマホを持っていないと回答している児童の、算数の正答率が高くなっています。分からないことがあったとき、自分で学び方を考え工夫できていると回答している児童の正答率が高くなっているという傾向がありますので、この部分に力を入れていただきたいと思います。16 ページのグラフをご覧ください。先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思いますかという質問が全国平均を超えています。21 ページをお願いします。学習習慣、学習環境、生活習慣等の質問です。グラフの一部が変な形をしていると思いますが、新聞を読んでいますかという設問です。右下にグラフが伸びていますが、この項目の回答は0ということです。毎日新聞を読んでいるという子が0という結果でしたのでこのような形になっています。24 ページをお願いします。新聞を毎日読んでいると答えた子はいませんが、月に少しでも新聞を読んでいると回答した子は、国語と算数の正答率が高くなっています。新聞を購読していないご家庭もあると思いますが、ある程度新聞を読むことは大切なことだと感じました。25 ページをお願いします。規範意識、自己有用感、幸福感等です。先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますかという設問で、全国平均よりも高くなっています。先生に対して肯定的な答えが小学校では全国平均より高くなっています。子ども達は先生に対して非常に良いイメージ持っているという傾向があると考えられます。28 ページをお願いします。自分には良いところがある。自分と違う意見について考えるのが楽しい。地域や社会を良くするために何かをしてみたいと回答している子は正答率が高くなっています。自分には良いところがあると思うことは非常に大切なことだと思います。29 ページをお願いします。同じく規範意識、自己有用感、幸福感等です。結果については31 ページになります。困りごとや不安があると

きに先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答をしている児童の割合が全国平均を下回っています。家庭や学校で大人に相談できる機会が、あまりないというのは困ったところだと思っています。中学校の調査でも全く同じ設問があり、中学校の方は全国平均よりも高くなっています。中学生は相談でき小学生は相談できないということは、どういうことかと悩むところですが、中学校の方が生徒に対する相談機能ができていないのではないかと思います。小学校に課題があるのではないかと思います。32 ページ以降は各小学校が家庭に配布した報告書です。以上が小学校です。中学校の3 ページをお願いします。授業改善に関する取り組みです。グラフの、自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組み立て等を工夫して発表しているという設問が、大きく下がっています。6 ページが分析になります。今、説明した内容に力を入れる必要があるほか、課題解決に向け自分で考え、自分から取り組む活動に力を入れる必要があるという結果は、裏を返せばこの項目をつけてやると正答率が高くなると思います。7 ページをお願いします。国語の学習です。ご覧いただいておりますように国語の勉強は好きですかという設問では、好きという回答が全国の倍近くありました。内容がよくわかりますかという設問は全国平均を超えています。分析は10 ページになります。国語の授業内容がよく分かると回答した生徒は、国語・数学の正答率が高い傾向があります。11 ページの数学の学習をお願いします。小学校と見比べていただければ分かりますが、小学校の方もほぼ低い内容でしたし、中学校の方も一部を除きグラフの内側を示しています。数学に関しては以前お話しましたように全国平均に近づいてきているという特徴があります。グラフが全国平均の外側を示すようになれば、全国平均の正答率を超えてくるのではないかと思います。14 ページをお願いします。数学の勉強は好き、数学の勉強は大切だ、数学の授業の内容はよく分かる、数学の問題が解けたとき別の解き方を考えようとしていると回答している生徒は、数学の正答率が高い傾向にありますので、ここを伸ばしていくことができればと思います。15 ページをお願いします。学習習慣、学習環境、生活習慣等です。こちらの方も先ほどの小学校でご説明しましたが、先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますかという設問は非常に高くなっていますので、先生方が頑張っていると思います。分析は19 ページになります。いつも問題になっていることですが、平日授業時間以外に1時間以上勉強している、1時間以上 ICT 機器を使って勉強していると回答している生徒の割合が、全国平均を大きく下回っています。平日授業時間以外に1時間以上勉強している、土日に2時間以上勉強していると回答している生徒は、国語・数学とも正答率が高くなります。やはり1時間以上の勉強が必要になってくると思います。平日にテレビゲームをする時間と動画視聴する時間がそれぞれ2時間以内と回答している生徒の正答率が高くなっています。この分析結果がボーダーラインになってくるのではないかと思います。20 ページをお願いします。学習習慣、学習環境、生活習慣等の2つ目です。中学生も新聞を読んでいますかと

いう割合が極端に低くなっています。この他の設問の結果も全国平均グラフの内側にあります。24 ページをお願いします。規範意識、自己有用感、幸福感等です。先ほど小学校の方でも申し上げましたが、先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますかという設問は、全国平均を上回っていますので、小学校中学校の先生方はよく頑張ってくれていると思います。一方で将来の夢や目標を持っていますかの設問が、低い結果になっています。これは過去最低の結果です。25 ページ中段のグラフをご覧ください。毎年ある設問ですが、平成 29 年度は 50%以上が当てはまると答えていましたが、今年度は 25%を下回っているという結果です。この結果は問題になってくると思っています。27 ページの規範意識、自己有用感、幸福感等の 2 つ目です。こちらの結果については、点数には響いてこそ特徴がありませんでした。先ほど小学校では低いとご説明した、困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますかという設問で高くなってきていますので、中学校の生徒指導、生徒相談の力が非常についてきているのではないかと思います。最後に 30 ページから 31 ページは中学校が保護者に配布した内容です。30 ページをご覧ください。一番上に全国平均、全道平均との比較があります。以前は全てが相当低いでした。相当低いが、やや低いに変わったというだけで、非常に進歩したと思います。来年度にも期待をしたいと思っています。以上です。

○石崎教育長

ただいまの教育指導主幹通信、全国学習学力状況調査の結果について報告がありました。委員の皆さんから質問等ありましたらよろしくをお願いします。

○芦崎委員

全国学力学習状況調査の小学校の新聞についてですが、羅臼町内各ご家庭の新聞の購読率はどのくらいでしょうか。全世帯に近いほど新聞を購読しているのであれば、この結果はどうかと思います。最近新聞を購読せずネットで情報を得ることが多いと思いますので、新聞に変わる指標で見なければならぬ部分があると思います。新聞を読んでいる子の正答率が高いという結果になっていますので、各家庭で新聞を購読していなければ正確性に欠けると感じます。読みたくても読めない家庭もあると思います。

山形県での公開研究会のお話しの中に、タブレットが無いお子さんがいるということでした。羅臼町内の小学校は、持ち帰りという形で取り組みをしているということによろしいですか。

○横澤主幹

持ち帰りをしています。

○芦崎委員

学校に置いて帰らないように指導しているということですか。

○横澤主幹

春松小学校の保護者アンケートで、特に1年生は重たいので毎日持ち帰りさせないでほしいという意見がありましたが、通行止め等があった際に必要になりますので持ち帰りをしています。

○芦崎委員

学校から出ている課題等について、タブレットでやらなければならないものもあると思いますが、そこは自由なのか、必ず持ち帰りなのかがコロナ以降はつきりとしていない部分があるのかもしれませんが。

○横澤主幹

各学校は必ず持ち帰るよう指導し、勉強をしてくださいということです。

○芦崎委員

持ち帰ったタブレットの使用時間が動画の視聴によるものなのか、何時間も超過している部分がありますので、学校側でもログイン時間を把握できると思いますので、個別指導のような形でこの数字を下げていくことはできないでしょうか。基本的にはタブレットを使用した勉強による学力の向上が目的だと思いますので、そこに繋がっていないのであれば、使用制限等をしていかなければならないと思います。

○横澤主幹

17ページの中段は、タブレットを使って勉強をしていますかという設問です。この項目では1時間以上使っているという子が70%近くまでいます。子ども達は1時間以上タブレットで勉強していると考えていただいてもよいと思います。

○芦崎委員

リビングで勉強する場合もあれば、子ども部屋で勉強する場合があります。タブレットで何を勉強しているのかということです。しっかりと勉強をしているのであれば学力に結びついてくると思います。そこに結びつきがないのであれば、使い方を間違えている子がいるのかもしれませんが。

○石崎教育長

学校から持ち帰っているタブレットでゲームや、YouTube の視聴などはできる仕様になっていますか。

○横澤主幹

可能です。

○石崎教育長

それはインターネットにつなぐため規制が難しいということですか。

○学務課長

現在は繋げる仕様になっていますが、更新の時期が近づいてきていますので、規制レベルを上げることを検討しています。

○石崎教育長

多くがスマホを持っている状況の中で、そのタブレットが悪影響を及ぼしているとも言いきれないのではないかと思います。

○芦崎委員

スマホは全員が持っているとは限りませんので、スマホが無いのでタブレットで動画を見ているというご家庭も中にはある可能性があります。

○石崎教育長

小学生はスマホを持っている子が少ないかもしれませんが。新聞については各家庭といった部分では難しさがあると思いますが、各学校には新聞があります。新聞代については図書費の中で交付税措置がされていますので、中学校は台を置いて誰でも見ることができる形にしています。求めれば朝ご飯を食べた後に見ることができなくても、学校に行けば見ることができるような形にはなっています。本を読むこと、新聞を読むこと、活字を読むといった部分では一緒ですけども、社会の情報といった部分で、ぜひ目を通してほしいと思っています。委員の皆さんは小学校のときに新聞を読んでいたか。割合としては少ないのではないのでしょうか。

○芦崎委員

北海道新聞が子ども向けの新聞を発行しています。子ども向けの新聞であれば読めると思います。私は子どもの頃から普通の新聞も読んでいます。新聞を読むか読まないかではなく、ニュース等の情報収集という設問に変えてもいいのではないかと思います。

○佐々木委員

各学校ではどのように新聞を置いていますか。

○石崎教育長

斜めの台に置き見やすく読みやすくしています。

○佐々木委員

新聞を読もうと思わなくても、いつでもどこかに新聞がある環境を作ることができないのかと思います。例えば階段の踊り場に4コマ漫画でもいいですが毎日貼ってあるとか、親しみを持たせるような、取り組みをしないと新聞が置いてあっても、見ない子は見ないのではないかと思います。

○芦崎委員

学校のテレビ、モニターは使えますか。

○横澤主幹

使えます。

○芦崎委員

昼休みに、道新トピックスを映してもいいと思います。ヤフーニュース等のように大きい項目を見ることができれば、興味があることを調べ、新聞を読むことに繋がるかもしれない。それを給食の時間に行うことは可能でしょうか。時代的に合っていないのではないかという視点でした。

○横澤主幹

この調査が始まった頃からある設問です。過去からのデータで、新聞を読むと学力が高くなる傾向があるという結果が出ているためです。

○芦崎委員

活字を読むということだと思います。

○横澤主幹

そのとおりです。

○芦崎委員

受験にも必要になると思います。

○石崎教育長

私は中学校3年生の時に社説を読むようにと言われた記憶があります。他に質問等ありますでしょうか。全国学力学習状況調査の結果については、時間のある時にご確認いただければと思います。

他に事務局から連絡報告等ありましたらよろしく申し上げます。

○学務課長

11月1日の高校生一日議会は、委員の皆さんの参加をお願いしていたところです。10時までに議会の議場の方にお集まりいただければ、席をご案内させていただきますので、ぜひ出席していただければと思います。よろしくお願いたします。令和6年度教育委員会新任委員研修につきまして櫻庭係長から説明をさせていただきます。

○総務管理係長

皆さんのお手元に市町村教育委員会新任委員研修会の実施要項をお配りさせていただきました。開催期日が11月27日となっており、ZOOMでの参加が可能となっています。こちらについては当初予定していた11月の定例教育委員会と同じ日程となっており、時間的にも午後からということで重なっておりますが、研修を受けていただければと思っています。要項中段の対象者の欄を見ていただきますと、1番として、委員就任後2年を経過していない者となっており、小林委員が対象になります。対象者の2番として、他の委員の方、教育長で特に参加を希望する者となっておりますので、ここまで含めると、委員の皆さん全員ということになります。出席できますか、できませんかということですが、11月の定例教育委員会と日程が重なっていますので、1つの案として、研修会に参加をしていただいて、終わった後に教育委員会を開催するのですとか、教育委員会は別の日に変更するといった方法があると思いますので、委員の皆さんのご都合をお聞かせ願います。

○学務課長

研修会に参加可能な方は、ぜひ参加していただければと思います。この研修会が終わった後、遅くなりますけれども、引き続き定例教育委員会をさせていただければこの日で完結するのではないかと考えております。定例教育委員会の時間が遅くなるとご都合が悪いということであれば、次の日に教育委員会を開催するという調整をしたいと思います。もし委員の皆さんのご都合がつけば、11月27日の午後に、研修会と教育委員会を開催したいと思います。皆さんいかがでしょうか。

○佐々木委員

どちらでも構いません。

○芦崎委員

研修の講義1、2の終了時間が15:30のため、午前中に教育委員会を開催することはできますか。研修終了後の教育委員会でも構いませんが、議事は多くなりそうですか。

○学務課長

12月定例議会の補正、学校管理規則の要綱の一部変更、冬休みの在宅勤務の要綱の協議等がある予定です。

○石崎教育長

いずれにしても研修を受けた後に、教育委員会を開催するというところでよろしいですか。

○全委員

異議なし。

○学務課長

11月27日午後に研修会に参加していただき、その後に教育委員会を開催させていただきます。

○葛西委員

会場はどこになりますか。

○学務課長

本日と同じ会場になります。事務局からは以上です。

○石崎教育長

委員の皆さんからは特に確認事項等ありませんでしょうか。

○全委員

特になし。

○石崎教育長

それではこれで予定されていた会議日程は全て終了いたしました。本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。